

平成21年

4月号

(532号)



広報

かねやま



真新しい制服に身をつつみ歩み出す金山中の新入生たち

金山中学校が開校 新たな歴史がスタート

新入生17名が 新たな門をくぐる

四月六日、第一中と横田中が統合して誕生した金山中学校の開校式と入学式が行われました。生徒たちは、新しい校旗と校歌のもと、新たな歴史のスタートを切りました。少子化が進み、地域住民の理解と支援により今日を迎えることができた金山中。学校、家庭、地域が一体となり、より良い教育環境づくりを進めなければなりません。

式には、生徒、保護者、関係者ら百八十人ほどが出席する中、新入生十七名は、温かい拍手の中で入場しました。

町長が、「平成二十一年四月一日、新しく金山中学校を開校することをここに宣言します。」と、開校を宣言した後、式辞を述べました。

続いて、新しい校章が披露され、公募によりデザインが決まった校章の作者で、三月に第一中を卒業した長谷川暁久君（会津高一年・川口）が出席者に紹介されました。

また、新しい校歌の作詞にあたった県現代詩人会名誉会長の村野井幸雄さん（会津美里町）と作曲にあたった県音楽協会顧問皆川郁夫さん（福島市）が紹介されました。村野井さんは以前にも金山町民の歌など



右から村野井さん、皆川さん、長谷川君

も作詞し、皆川さんは川口高校の校長もつとめたことがある金山町にゆかりのある方です。

作詞にあたった村野井さんは、「何度も金山町を訪れ、自然、歴史などを調べました。なかでも只見川の川霧は町民の心に深く残っている。」と話され、作曲にあたった皆川さんは、「子供たちが、明るく前進できるように考えて作曲しました。」と、それぞれの校歌に

対する思いを熱く語ると、お二人の思いのつまった校歌を、上級生が明るい声で歌ったあと、長谷川君、村野井さん、皆川さんの三人に花束が贈られました。

続いて、町長から新しい校旗が在校生代表の渡部まきさん（三年・横田）に授与されると、「この校旗のもと、新しい伝統を築いていきます。」と、渡部さんは力強く宣言しました。



新しい校歌を披露する上級生たち



新しい校旗を授与される渡部さん



金山町立金山中学校歌

作詞 村野井幸雄
作曲 皆川 郁夫

妖精の住む町
ラン ラ ラ ラ
かねやま

父なる山はけだかくて
御神楽岳の風神よ
母なる川はひとすじに
川霧晴れる只見川
森の恵みの沼沢湖
風雪に耐え日を重ね
会津の教え花と咲く
理想に燃える
金山中
世界に伸びる
金山中
あゝ
金山中学校

開校式に引き続き行われた第一回の入学式は、来賓保護者らの見守る中、十七名の新入生が真新しい制服に身をつつみ希望と不安を胸に、緊張した面持ちで式に臨みました。



歓迎の言葉を述べる中丸さん

式では、渡部登代子校長が、「あなたたちは、金山中の歴史の担い手となる。緊張感の中にも新鮮な気持ちをお忘れなさい。中学校生活に必要な、気構え、身構え、もの構えを持ち、失敗を恐れず何ごとにも積極的に取り組み、第一中と横田中の歴史と伝統を受け継ぎ、新たな一ページを築いてほしい。」と式辞を述べました。

星佐益教育委員長が告辞を述べ、町長、議会議長の



誓いの言葉を述べる菅家君

来賓祝辞の後、父母と教師の会を代表し、滝沢博一さん（上横田）が、本田技研工業の創始者故本田宗一郎さんの考え方に触れながら夢と目標について話し「夢があれば希望がある、希望があれば目標がある、目標があれば行動がある、行動があれば進歩がある、進歩があれば夢がかなう。」と言葉を贈りました。

在校生を代表して中丸あすかさん（三年・大志）が「新生金山中は未知の世界でもある。不安と期待の中で、仲間と協力し合い、新しい伝統を築いていきましよう。」と、歓迎の言葉を述べました。

最後に、新入生を代表して菅家翼君（大塩）が「大

きな喜びと責任を感じる。第一中、横田中の先輩方が築いてきた伝統を受け継ぎ、金山中学校の新しい歴史の一ページを、心を一つにして記していきたい。」と誓いの言葉を述べました。

応援旗と絵画などが贈られる

次の方から寄贈がありました。

- 東京金山会から応援旗（四枚）
- 会津若松市の中丸正夫さん（大志出身）から絵画（五枚）
- 大竹新吉さん（大志）から掲示板

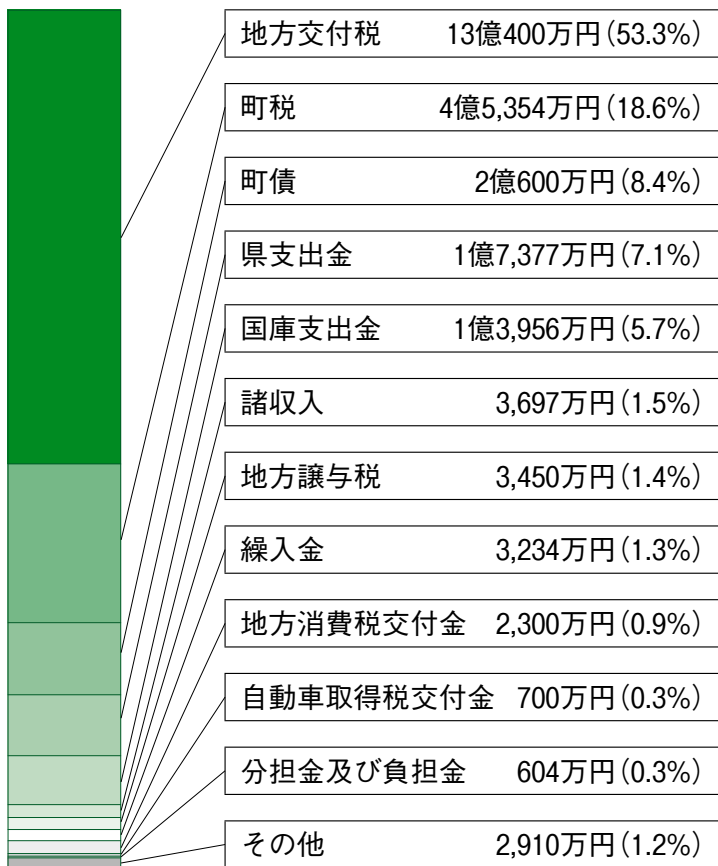


東京金山会から贈られた応援旗

平成21年度町予算

一般会計予算二十四億四千五百八十二万円の使いみち

金山町の平成二十一年度予算が決まりました。今年度の一般会計予算は総額二十四億四千五百八十二万円で、昨年度に比べ七千九百十四万円（三・二パーセント）の減額です。沼沢地区の携帯電話鉄塔整備事業の完了等による建設事業費の減、近年の事業抑制による公債費の減などによるものです。特別会計では介護保険会計を除き、前年度に比べ減少しています。九つの特別会計の総額では、二億四千六百六十四万円の減です。



歳入総額 24億4,582万円

※その他＝寄付金、繰越金、使用料及び手数料、財産収入、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金

歳入の特徴

普通交付税の増

普通交付税（臨時財政対策債含む）は、前年度予算比で五千四百七十万円の増です。現在、景気や雇用情勢が全国的に悪化していることに伴い、雇用創出につながる地域の実情に応じた事業の実施を目的とした地域雇用創出推進費が新設されました。

町税の増

町民税は前年度に比べて減少しますが、町税の大部分を占めている固定資産税の大規模償却資産税が増加したことにより、町税全体では増加しています。

前年度の予算と比べて四百七十三万円（一・一パーセント）の増加となります。

繰入金の減

繰入金の総額は、前年度の予算に比べて三千六万円（四八・二パーセント）の減少となります。今年度は財政調整基金を繰り入れることがなく当初予算を編成することができました。

これは、平成十年度以来十一年ぶりです。



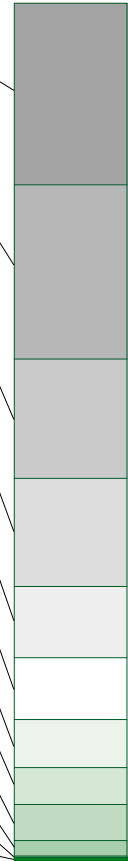
未来の町の担い手となる子供たち

特別会計の予算

() は前年度比

国民健康保険事業勘定	4億811万円	(5,151万円の減)
※医療費など		
国民健康保健施設勘定	1億4,309万円	(504万円の減)
※診療所の運営		
簡易水道事業	1億2,359万円	(9,264万円の減)
老人保健事業	356万円	(7,074万円の減)
町営バス事業	1,898万円	(842万円の減)
農業集落排水事業	762万円	(1万円の増)
介護保険	4億3,721万円	(1,788万円の増)
特定地域生活排水処理事業	9,356万円	(2,419万円の減)
後期高齢者医療	5,049万円	(700万円の減)
特別会計(計)	12億8,620万円	(2億4,164万円の減)

総務費	5億2,641万円 (21.5%)
公債費	4億8,961万円 (20.0%)
民生費	3億3,905万円 (13.9%)
土木費	3億890万円 (12.6%)
衛生費	2億187万円 (8.3%)
教育費	1億7,563万円 (7.2%)
商工費	1億3,700万円 (5.6%)
農林水産業費	1億455万円 (4.3%)
消防費	1億312万円 (4.2%)
議会費	4,451万円 (1.8%)
災害復旧費	512万円 (0.2%)
その他	1,005万円 (0.4%)



歳出総額 24億4,582万円

※その他=予備費、諸支出金



運行がスタートした乗合タクシー

歳出の特徴

▼環境整備・地域活性化に向けた取り組み

町民の生活に密着した環境整備、地域の活性化に向けた事業に取り組みます。

【新規事業】

- 乗合タクシー運行事業
…一千八百五十七万円
- 地域づくり支援事業
…二百七十万円
- 元気な農業支援事業
…二百五十万円
- 【継続(拡充)事業】
- 川口高校存続事業(桐径会補助) 五百三十九万円
- かねやまのやる気応援事業
…二百四十万円
- 妖精の里商品券事業
…百四十万円

▼普通建設事業

今年度実施する普通建設事業の主なものはおおです。

- 町道滝沢・田沢線改良工事
…九千七百万円
- 町道大志・舟場線改良工事
…五千四百万円
- 林道本名・室谷線改良工事
…二千四百二十万円
- 除雪ドーザ購入事業
…一千七百万円
- スキー場リフト整備事業
…一千三百二十万円
- 町民体育館屋根塗装事業
…一千三百万円

▼その他

近年の起債事業の抑制により、公債費(過去に借り入れた地方債の償還金等)が前年度に比べ、二千三百四十三万円(四・六パーセント)減少し、四億八千九百六十一万円となりました。

積立金は、地域雇用創出推進基金の新設などにより、前年度比五千三百一十円(三二・五パーセント)増の六千九百三十一万円となっております。

農林業を生活基盤に若者が定住できる まちづくり

平成21年度の町の施策がスタート

平成二十一年の町づくりがスタートしました。働く場を失い、少子高齢社会が極端に進行するなか、町を守ることにすら容易でない状況です。若者が定住できるまちづくりを目標に、安心して暮らせる町を目指していきます。

ここ数年、地方交付税の削減などにより厳しい財政

状況が続き、世界規模の金融破綻の影響を受ける中、

町内でも働く場所を失った人たちもいます。少子高齢社会がますます進む中で、

これまで受け継がれてきたふるさとを後世に伝えていくことすら難しい状況に直面しています。大自然を最大限に活用した農林業を生活基盤とするため、町が潜在的に持つ地域資源を「かねやま」ブランドとした生産加工業、食文化、生活文化の形成、交流、観光資源の整備や農産物などの生産基盤の整備、人づくりなど、

若者が定住できる町を目指して、新年度のまちづくりがスタートしました。

高齢者などへの対策

高齢者が活力ある生活を送るための支援を行います。

▼乗合タクシーの運行

高齢者などの日常の交通手段を確保するために、「乗合タクシー」の運行を四月一日からスタートさせました。診療所への通院や買い物、いろいろな行事に参加するときの「足」として、ご利用いただけます。

生活環境の整備

町民のみなさんが、安心して生活できるように環境整備を進めます。

▼生活排水

休止している特定環境保全公下水道事業の再評価

を実施したため、整備方針を早急に確定するとともに、生活排水処理施設の未整備地区の整備を進めます。

▼生活道路の整備

町道滝沢・田沢線、大志・舟場線、中川・大栗山線の改良を進めます。

▼簡易水道事業

玉梨と八町地区の簡易水道工事を完了させます。

▼光ファイバー網

地域間での情報格差をなくすため、高速でインターネットが利用できる光ファイバー網の設計を行います。

産業の振興

地域資源を最大限に活用した農林業に取り組みます。



町の支援を充実させた川口高校の入学式

▼元気な農業支援事業

優良農地の維持・確保を目的に、認定農業者に対して、農地の借り入れ面積に応じて、支援金を交付します。

また、農用地利用改善団体に対しては、団体の構成人数に応じて支援金を交付します。

▼やる気応援事業

「かねやまのやる気応援事業」を継続して、特産品の開発や地域の産業おこしの取り組みで、地域の活性化につながる取り組みを行う団体を支援します。

▼緊急雇用対策

観光情報センターの設置、景観形成、有害鳥獣対策、文化財・民俗資料の整備、空き家所有者へのニーズ調査などの緊急雇用を実施。

教育環境の整備

少子化が進む中、未来の担い手となる児童、生徒のため、町内の小中学校整備と川口高校に対する支援を行います。

▼小学校校舎の耐震化

児童が安心して学校生活を送ることができるよう、校舎の耐震化を進めます。

▼川口高校の存続対策

分校化、募集停止の危機に直面している県立川口高等学校の存続にむけては、生徒育成補助（入学準備金など）として、一年生に三万円、二年生と三年生にそれぞれ二万円を支給するとともに、桐径会や同窓会とともに生徒の確保に努めていきます。

健康と福祉

高齢社会が進む中、県や社会福祉協議会との連携を図ります。

▼病気の予防

人間ドック事業を継続し、健康教育・相談、検診項目の追加など、病気の早期発見に努めます。

▼国保診療所

診療所については、宮下病院より医師派遣を継続いただきながら、診療体制の維持と施設整備を進めます。

活性化支援

町内の各集落における高齢社会の進展に対応するため、町内の各地域を活性化するための支援を行います。

▼集落支援員

集落支援員を設置して、住民のみなさんと一緒になつて集落の活性化をお手伝いします。

▼緑のふるさと協力隊

財団法人地球緑化協会より「緑のふるさと協力隊」を派遣していただき、農業などを中心とした地域づくりを応援していきます。

▼地域づくりアドバイザー

地域の活性化を図りたい地区や地域などに対して、地域づくりアドバイザー事業などを活用し、少しでも活性化が図られるよう推進します。

国の地域活性化・生活対策事業

事業名	金額
不要公共施設の取り壊しによる景観保全	10,000 千円
防災拠点（役場）の電話回線の更新など	5,220 千円
公共施設や教育施設へ地デジ対応テレビを購入	3,500 千円
光ファイバー網の設計を行う事業	7,491 千円
地域振興券発行事業	2,200 千円
住民基本台帳ネットワークシステムの更新	11,669 千円
川口及び横田保育所のトイレの洋式化する事業	1,200 千円
町水道の配水池の修繕や管路の更新	17,415 千円
国保診療所に内視鏡を整備するため	3,098 千円
農道や用排水路の改修などの農業基盤の整備	11,500 千円
貸し出し用の農業機械の整備（アスパラ用）	2,571 千円
自然教育村会館の非常用蓄電池の交換	457 千円
遊歩道や公園などの整備や立木伐採	17,000 千円
あすなろ館などの飲用水の水源変更	6,300 千円
足元道路の舗装・修繕・拡幅などの事業	19,800 千円
カードレールや落石ネットの修繕など	4,000 千円
金山及び横田小学校の耐震診断を行うため	5,618 千円
金山小学校の耐震補強のための設計	5,000 千円
金山中学校体育館の耐震補強工事	24,380 千円
旧横田中学校の体育館などの耐震診断	1,700 千円
金山中学校に新しいパソコンなどを整備	9,197 千円
中央及び横田公民館にインターネット環境を整備	3,000 千円

話題の 散歩道

健康的な歯について語る市川歯科医師



歯科講演会に25人が参加 健康的な歯について理解を深める

三月十七日、ゆうゆう館において、歯科講演会が開催され、二十五人ほどが参加しました。

当日は、国保診療所の市川公久歯科医師が講師をつとめ、「入れ歯を外して眠り、歯ぐきを休める。」ことや「虫歯は人から人へうつる感染症。親の使った箸などで子どもに食べさせると虫歯がうつる。」こと、また、歯磨き粉の効果や歯磨きの仕方、入れ歯の手入れなど、健康的な歯を保つ方法について話しました。

「入れ歯の場合、あまり固いものは食べない方が良いのか。」「食べ物飲み込みずらいんだけど」など活発な質問があり、参加者は、歯の健康の大切さについて、理解を深めていきました。



学舎に別れを告げる卒業生たち

思い出の残る学舎を巣立つ 横田小学校を六名が卒業

三月二十三日、横田小学校において、卒業証書授与式が行われました。

式では、大沼辰雄校長から六人の卒業生一人ひとりに卒業証書が授与され、続いて、大沼校長が「やればできる。できないのは、やらないからである。」と卒業生に言葉を贈りました。教育委員会告辞、副町長、議会議長の来賓祝辞の後、父母と教師の会会長の菅家敏さん（大塩）が「金山小からの入学生とともに、金山中の新しい伝統を築いてください。」と話しました。

卒業生六人が「六年間の思い出を胸に自信を持って歩みます。横田小の輝かしい伝統を受け継いでください。」と別れの言葉を述べると、在校生が「みなさんが築いた伝統をしっかり受け継いでいきます。」と約束しました。



別れを惜しむ在校生たち

学習することの大切さを理解 母ちゃんワークショップを開催

二月二十一日と三月十四日、横田公民館において、横田地域の女性を対象に「母ちゃんワークショップ」が開かれました。

これは、「女性が行う地域づくり」をテーマに、一回目は郷土料理と地産地消の二つのテーマについて話し合い、二回目は二つのテーマの課題をまとめ、「地域づくりのためには自らが学習すること」が必要であることや、仲間づくりや役割分担も重要なことを学びました。

参加者は、「郷土料理を後世に伝えていくために学びたい」「伝統を伝えるには若い人たちを巻き込んで勉強しなくては」「郷土料理のレシピを作ってみよう」など、活発な意見が出ていました。

意見を出し合う参加者



2人の百歳賀寿を祝う

三月二十八日、このほど満百歳をむかえた目黒ヤエノさん（本名）と栗城ノブヨさん（小栗山）に賀寿の贈呈が行われ、会津保健福祉事務所副所長、町長、町老人クラブ連合会会長の菅家治作さん（本名）らが賀寿や記念品、祝金を贈りました。

目黒ヤエノさん宅では、本名老人クラブから祝金、ひ孫の中丸あすかさんと菅家幸さんが花束贈呈、孫の目黒浩さんが「一日一日を楽しく過ごしてほしい」と話しました。

栗城ノブヨさん宅では、小栗山老人クラブの横山雄一さんから祝金、ひ孫の栗城拓也さんが花束贈呈、長男の栗城市朗さんが「無事に百歳を迎えられたことに感謝したい」と謝辞を述べました。



賀寿を贈呈される目黒ヤエノさん



花束を贈られる栗城ノブヨさん

少子化の中でうれしい活躍 町体協が総会を開く

三月三十日、開発センターにおいて、金山町体育協会総会が開催されました。

総会に先立ち、平成二十年度の表彰が行われ、会長の諏佐茂夫さん（宮崎）が「中学、高校、大学ともに受賞者があり、少子化の中で活躍する人たちがいることは嬉しいこと。」と話しました。総会では、平成二十一年度の事業計画や市町村対抗軟式野球大会への参加などについて話し合いが行われました。

また、県体育協会の職員から「総合型地域スポーツクラブ」設立に向けた趣旨説明が行われました。

※受賞者は十二ページに掲載



表彰を受ける受賞者

町民の新たな足が運行開始 金山町乗合タクシー出発式

三月三十一日、役場駐車場において、金山町乗合タクシー出発式が行われました。

町長あいさつの後、町長、議会議長、大竹信吉商工会会長、菅家治作町老人クラブ連合会会長、運行事業者代表の長谷川大昌さん（川口）の関係者五人がテープカットを行い、四台のタクシーが発発しました。

利用者の一人は、「高齢となり運転免許証を返したので、自分の都合に合わせて予約時間どおりに乗せてくれる乗合タクシーの運行開始は、とてもありがたいことです。」と話してくれました。

新たなスタートを切った乗合タクシーは、今後、町民の足として広く利用されることが期待されます。



出発を祝い関係者がテープカット



元気に入場する子供たち

メダルを贈られた子供たち



元気におへんじできたね 川口保育所で入所おめでとうの会

四月二日、前日に降った雪が残り少し肌寒い中、川口保育所で「入所おめでとうの会」が開かれました。

来賓や保育所職員らが見守る中、入所する子供たち六人が、保護者に手を引かれながら緊張の面持ちで会場に入りました。

六人は、担当の保育士に名前を呼ばれると、所内に響き渡る元気な声で「はい」と返事をしました。

来賓として出席した金山駐在所の菊田修朗さんは、「保育所に通う時に、事故にあわないように、教えてあげてください。」と、在所児童に向けて話しました。

在所児童から六人にメダルのプレゼントが贈られると嬉しそうに「ありがとうございます」とこたえました。

照れながら「はい」 横田保育所で入所おめでとうの会

四月二日、横田保育所で「入所おめでとうの会」が開かれました。

来賓や保育所職員らが見守る中、入所する子供たち四人が、保護者に手を引かれ緊張の面持ちで会場に入りました。

在所児童三人が元気な声で、「これから入所おめでとうの会をはじめます」と開会の言葉を述べ、保育所長が「一人で生きていく力を育んでいきたい」とあいさつしました。

四人は、担当の保育士に一人ひとり名前を呼ばれると、照れながら「はい」と返事をしました。

また、在所児童が歌あそびのプレゼントを贈ると、四人は時折楽し気に体を動かしていました。



入所した4人の子供たち



元気に開会の言葉を述べる子供たち

ふるさと 歴史トピックス

数字で見ると 金山町の歴史

(三十六)

近世の農村人口(四)

沼沢湖の用水で福沢入新田村が開田したので、後には水沼・大栗山村も開田ができ、当時の農民は多大の恩恵を受けました。

しかし台風などの被害も受けやすく、木材と土石での補修ですから二十年に一度の大補修、年々の小普請も繰り返されました。

昭和九年(一九三四)の室戸台風の日など、当日沼沢小学校は、三校連合運動会、助木は倒れオルガンが吹き飛ぶ程で午後中止、帰り道が大変で荒浜・藤ヶ崎は大波で山路を迂回しています。何せ全国で三千人もの犠牲者の出た台風でした。



緊張した面持ちの新入生たち

ピカピカの一年生が仲間入り 金山小に8名が入学

四月六日、金山小学校で入学式が行われ、八名が新たに仲間入りしました。

式では、高橋賢司校長が式辞を述べ、教育長の教育委員会告辞の後、町長、議会議長、父母と教師の会会長の阿部泰雅さん（小栗山）が来賓祝辞を行いました。

新入生は、一人ひとり名前を呼ばれると緊張した面持ちの中元気な声で「はい」と返事をしていました。

二年生から「入学おめでとう」と祝福の言葉をかけられると、嬉しそうにほほえみを浮かべました。

最後に、入学生の保護者を代表して栗田健司さん（川口）が「六年間、子供たちをあたたく見守ってください」と話しました。



安全運転を呼びかける母の会会員ら

ドライバーに安全運転を呼びかけ 交通安全ふれあいキャンペーン

四月七日、国道二五二号沿道で、「交通安全ふれあいキャンペーン」が実施されました。

これは、春の全国交通安全運動の一環として毎年行っているもので、金山駐在所と横田駐在所の警察官、交通安全専門員、会津坂下地区交通安全協会、交通安全母の会の会員ら三十人ほどが参加しました。

参加した交通安全母の会会員らが、道行くドライバーにシートベルトの着用と「安全運転をお願いします」と声をかけると、「ごころうさま」とドライバーが労いの言葉をかけていました。

関係者らは「キャンペーンの呼びかけにより、今年一年が無事故であれば良いな。」と話しました。

川口高校で入学式 41名が高校生活をスタート

四月八日、川口高校において、平成二十一年度入学式が行われました。

入学式は、同校体育館で行われ、新入生四十一名は緊張した面持ちで入学式に臨みました。

式では、神谷仁校長が式辞を述べ、「高校の学習は、なお一層難しくなり、授業だけではなく日々の努力が大切。」と話しました。

また、杉山純一県議会議員、町長、PTA会長の栗田司さん（下大牧）、同窓会長の齋藤勇一さん（越川）が祝辞を述べました。

入学生代表の横山ありささんが、「伝統ある川口高校で三年間努力します」と誓いの言葉を述べ、四十一名は新たな高校生活をスタートさせました。



誓いの言葉を述べる横山ありささん

このような災害にも損じないため、沼沢湖利用の四か村は協力して水門や水路の修復に当たって来ました。

現在も寛政十年（一七八九）の『沼沢村水門御普請願内目録書』が残されています。これを見ますと湖畔に波除け石垣として長さ二十間、底辺三間、馬踏（上辺）二間の築堤が中心で、外に水門・用水路・橋などの搬出も含め、二千五百九十五人役の人足賃も掛るの大石組助合の上の現昭和村や三島町をも含めた金山谷の郷助合として、御蔵入郡奉行へ提出されています。

末尾は沼沢・福沢・大栗山・水沼の三役の署名捺印がなされています。

文化財調査委員

渡邊 良三



沼沢湖から通じる福沢の水門

お知らせ

今月の納税

- 軽自動車税 全期
- 保 育 料 4月分

納期限は
4月30日です

表彰

町体協表彰

三月三十日、開発センターにおいて、平成二十年度中に各種の大会で好成績をおさめた、三個人、十団体に対して、金山町体育協会から表彰状と副賞が贈られました。

受賞した個人および団体と競技成績については、次のとおりです。



表彰状を手渡される受賞者

【優秀選手賞】

- 栗田いつき(金山中二年) 県ジュニアアルペンスキー大会 第二位
- 栗田奈々(川口高校三年) 県総体ボート競技 第二位
- 女子シングルスカル 第二位
- 諏佐 遥(仙台大学二年) 県総体スキー競技 第三位
- 成年女子A 大回転 第三位

【優秀団体賞】

- 第一中男子バレー部 優勝
- 両沼中体連 優勝
- 全会津中体連 第三位
- かねやまホーム 職域対抗家庭バレーボール大会 三年連続優勝
- 金山町商工会 職域対抗卓球大会 三年連続優勝
- 金山チーム(ゲートボール) すこやか福島ねんりんピック 優勝

● 金山Aチーム(ゲートボール)

- 全会津市町村協会主催 塩川町花しょうぶ祭大会 優勝
- 川口高校スキー部 優勝
- 会津地区高校スキー大会 女子アルペン総合 第二位
- 川口高校テニス部 全会津総合体育大会テニス競技 第三位
- 川口高校ボート部 福島県高校体育大会ボート競技 優勝ほか
- かねやま(家庭バレーボール) 県民スポーツ両沼大会 優勝
- 同会津地域大会 第二位
- 横田中ソフトテニス部 両沼中体連 優勝
- 女子団体 優勝

お知らせ

自動車税の納付について

自動車税は、六月一日の納期限までに忘れずに納付し、自動車税を納付した時の領収証書には、車検の時に必要な納税証明書がついていますので、車検と一緒に保管しましょう。

なお、身体障がい者手帳、戦傷病者手帳、療育手帳等をお持ちの方のために使用される自動車で一定の要件に該当するものは、自動車税が減免されます。減免の申請は、納期限の六月一日までに忘れずに行ってください。

◎問い合わせ

会津地方振興局県税部
☎0242-12915261

これからの予定

★4月★

- ▼25日(土) 無人販売所オープン 午前9時半～

▼26日(日)

- 金山町消防団春季検閲式 午前10時～

- 小中合同資源物回収 横田小学区

▼29日(水)

- 沼沢湖周辺 観光施設オープン

★5月★

- ▼10日(日) 小中合同資源回収 金山小学区

▼13日(水)

- こぶし学級開講式 午前10時～ 横田公民館

▼14日(木)

- 行政相談 午前10時～ 金山町役場

● 心配ごと相談

- 午前10時～ ゆうゆう館
- 午後1時～ 横田公民館

- ▼20日(水) 運転免許更新 午前9時～開発センター

軽自動車税の納付について

軽自動車税は、四月一日現在で、バイクや農耕車、軽四輪などを所有している方に対して課税されます。

廃車にしたり、他人への譲渡などによって実際には使っていない車両であっても、移転、変更、抹消などの手続きを行っていない場合は、四月一日現在で登録されている方に納税していただくこととなります。

平成二十一年度の軽自動車税の納期限は、四月三十

日となります。

納期限までに、忘れずに納付しましょう。

詳しくは、次のところにお問い合わせください。

◎問い合わせ：税務係

☎54-5121

憲法週間無料法律相談会

裁判所では、五月一日から七日までの一週間に憲法週間と定めています。

憲法週間は、法務省、弁護士会などの協力を得て裁判所の憲法上の地位、国民生活の中で裁判所の果たし

ている役割など、裁判所に対する国民の理解と信頼を深めるための活動を行います。

この期間に、憲法週間記念無料法律相談会を開催します。

会津地区においては、次のとおり開催しますので、お気軽にご利用ください。

日時

五月一日(金)

午前10時～午後3時

会場

福島地方・家庭裁判所
会津若松支部構内

始まりました。

両社の携帯電話を使用することで、移動中でも品質の高い通話やデータ通信などが利用できるようになりました。

両社が発売しているすべての携帯電話が使用できるわけではなく、一部の機種では使用できません。

新たに購入される場合は、両社の携帯電話販売店または電器店などで使用可能な機種をご確認のうえ、購入してください。

◎問い合わせ：政策財政係

☎54-5222

沼沢地区と太郎布地区で携帯電話のサービスが開始



完成した携帯電話無線局

町が、平成二十年度事業により太郎布字上野沢地区において整備を進めてきた携帯電話無線局がこのほど

完成し、沼沢地区と太郎布地区において、NTTドコモとau(エーユー)の二社が携帯電話サービスを開

(会津若松市追手町六一六)

詳しくは、次のところにお問い合わせください。

◎問い合わせ

福島地方・家庭裁判所

会津若松支部

☎0242-27-0264

巡回児童相談会

巡回児童相談会は、すべての児童が、家庭及び地域社会において健やかに育てられるよう、児童に関する諸問題について、家庭などからの相談に応じ、保護者などに必要なアドバイスなどを行うことを目的として実施されます。

相談は、次のとおり行われますので、お気軽にお申し込みください。

相談内容

○歳から十八歳未満の児童の福祉に関する相談

相談従事者

会津児童相談所職員

(児童福祉司、相談調査員、心理判定員、家庭相談員、医師)

なお、会場や実施日など詳しくは、次のところにお問い合わせください。

◎問い合わせ：保健医療係

☎54-5135

町水道メーター検針

五月一日から五日までの間に、町水道メーター検針を実施します。

検針のため、検針員が各戸を訪問しますので、検針メーターの上に検針に障害のあるものが置いてある時は、四月中に取り除いておいてください。

なお、雪どけ後のこの時期は、漏水が多く発生していますので、自主点検を行いまししょう。

※水沼、高倉、三更、太郎布、田沢の各地区は該当ありません。

詳しくは、次のところにお問い合わせください。

◎問い合わせ：上下水道係

☎54-5315



修了お祝いの会(横田保育所)

固定資産の縦覧帳簿

町では、町内に家屋、車庫、土地などの固定資産を所有している方を対象に、帳簿の縦覧を次のとおり行っています。

▼期間

四月一日から
五月三十一日まで
(ただし、土日祝日は除く)

▼時間

8時30分から17時30分

▼縦覧場所

役場住民課税務係

▼縦覧できる方

固定資産税の納税者

◎問い合わせ：税務係

☎54-5121

人事

行政相談委員

四月一日付けで行政相談委員に大石盛一さん(大志)が委嘱されました。

行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、国の仕事をはじめNTTなどの特殊法人などの仕事についての苦情や意見、要望を受けつけ、みなさんと関係行政機関などとの間に立つて、その解決を促すために

相談に応じます。

町では、毎月第二木曜日に役場一階に相談所を開設します。

五月は十四日に開設しますので、お気軽にご相談ください。

なお、毎月の予定は、生涯学習カレンダーでご確認ください。

◎問い合わせ：住民福祉係

☎54-5131

町職員人事異動

次のとおり町職員の人事異動がありました。

()内は前任です。

【三月三十一日付】

★退職

▼横山力夫(車両主任)

【四月一日付】

★異動

▼地域振興課長⇨岩渕憲二

(教育次長・中央公民館長・川口公民館長)

▼農業委員会事務局長・地域振興課総括主幹⇨日黒

隆明(地域振興課長)

▼教育次長・中央公民館

長・川口公民館長⇨渡邊

新太郎(教育係長・中央

公民館長代理)

▼建設係長⇨渡部伸

(上下水道係長)

(上下水道係長)

▼上下水道係長⇨栗城真一

(建設係長)

▼教育係長・中央公民館長

代理⇨渡部明美

(住民福祉主任)

▼住民福祉主任⇨井上三七

子(総務主任)

▼車両主任⇨越尾新吉

(教育委員会主任運転手)

▼地域振興課⇨渡部洋人

(住民課)

▼総務課⇨長谷川兼士

(住民課)

▼住民課⇨五ノ井和博

(地域振興課)

▼教育委員会主任運転手⇨

菅家儀一(総務課)

ご寄付に感謝

ふるさと応援寄付金

次の方から金山町ふるさと応援寄付金をいただいています。

●福島市の黒田茂さんから
一万円

●神奈川県横浜市の西野浩
子さんから八万円

●ご寄附は、金山町の自然環境の保全や地域の活性化などの事業に活用させていただきます。

ご協力ありがとうございます。

社保加入の方へ

協会けんぽ福島支部では、町内の事業所に勤務し社会保険に加入している方の被扶養者について、特定検診の受診券を直接事業所を通じて配布します。

受診にあたっては、お住まいの市町村の集団検診会場に受診券と保険証を持参することにより受診ができます。

詳しくは、次のところにお問い合わせください。

◎問い合わせ…税務係

☎54-5135

平成二十一年度の区長さんが、次のとおり決まりました。一年間よろしくお願ひします。

(敬称略)

地区名	氏名	地区名	氏名
川口	長谷川 義助	大栗山	本名 一男
小栗山	諏江 祥太郎	福沢	若林 豊昇
八町	黒田 建吉	三更	角田 浩
玉梨	坂内 由夫	沼沢	五十島 吉治
西谷	黒川 廣志	太郎	若林 正
本名	栗田 修一	横田	横田 耕一
橋立	長谷川 重美	上横田	栗城 元一
大志	本多 捷一	土倉	家重 男
板下	星 徹	西部	小菅 健一
宮崎	長谷川 善助	大塩	黒林 愛次
上田	星 光	滝沢	菅目 仁
水沼	青柳 一雄	田沢	菅家 愛
上大牧	渡部 勇吉	山入	須藤 藤雄
下大牧	諏江 康幸	山入	大須藤 孝
高倉	五ノ井 光信	横川	横田 孝夫

募 集

いきいき生活倶楽部

町社会福祉協議会では、高齢者の方が生きがいを持っていきいきと毎日の生活を送ることができるよう、「いきいき生活倶楽部」を開催し、健康のための体操や創作活動など、いろいろなことに取り組みます。興味や関心のある方は、気分転換や健康の維持増進のために、参加してはいかがでしょうか。

なお、事業内容は、次のとおりです。

- ▼開催場所
 - ・本名公民館・玉梨集会所
 - ・山入集会所・ゆうゆう館
 - ・横田公民館



いきいき生活倶楽部の活動

▼時間

午前十時～午後三時

▼日程

十時半から血圧測定・健康体操、十二時から昼食・お昼寝、一時半からゲームや創作活動を行います。

▼行事等

春、秋二回の遠足や、沼沢湖水まつりの灯籠づくり、健康と福祉まつり展示作品づくり、クリスマス会など。

▼対象者

・おおむね六十五歳以上

(継続の方は申し込み不要)

▼交通手段

希望者には送迎バスを配車しますので、ご利用ください。

▼参加費

一回 八百五十円

(内訳は、弁当代七百円と事業費の一部負担金として百五十円。お弁当持参の場合、一回百五十円。)

▼申し込み方法

参加希望の方は、福祉センター(ゆうゆう館)に、直接電話でお申し込みください。

◎問い合わせ

金山町社会福祉協議会

☎5513336

あの人この人

3月届出(敬称略)

こんにちは赤ちゃん

須佐 桂伍 父・須佐 健 (上横田)
母・美紀

お二人で幸せに

該当はありませんでした。

霊よ安らかに

五ノ井 カイノ (92歳) 小栗山
栗 城 和子 (79歳) 玉 梨
藤 田 秀雄 (86歳) 宮 崎
相 楽 正巳 (82歳) 横 田

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

金山町の人口 (4月1日現在)

世帯数	1,149世帯	(-6)
人口	2,651人	(-15)
男	1,249人	(-8)
女	1,402人	(-7)

※()内は先月比

宮下病院だより

部局紹介 ～その2 検査・放射線・薬剤部～

【検査科】

検査科では、患者さんから採取した血液・尿等の検体検査や心電図、呼吸機能(肺活量)などを検査しています。ほかにも、生化学自動分析装置、自動血球計数装置、血液ガス分析装置などで血液を検査して肝機能、腎機能、脂質、貧血、血液酸素塩基平衡などを検査しています。検査についての疑問や不安なことなどがあれば、遠慮なくご相談ください。

【放射線科】

放射線科では、患者さん、特に高齢者の心理や行動に配慮して検査をしています。医師、看護師など少人数のスタッフが最大限の力を発揮できるよう、検査機器、医療機能の充実を目指し、検査技術の進歩に遅れないように、常に画像診断の質の向上を心がけています。

主な業務としては、一般撮影(胸部、腹部、骨系)、透視検査、乳房撮影(マンモグラフィ)、CT検査、内視鏡・超音波検査を行っています。

放射線検査について、ご不明や説明が不十分なことがありましたら、いつでもお問い合わせください。

【薬剤部】

平成17年5月より、外来患者のみなさんのお薬については、原則的に院外処方としましたので、薬剤部では、薬剤管理の指導を重点としています。入院中の患者さんに出されたお薬の服用方法、効能、効果を説明したり、副作用の予防、重複する投薬を防止して、病気の治療を行っています。

薬剤部では、このような業務を通じて患者さんとふれあい、患者さんの健康管理にお役に立ちたいと考えています。お薬について、不安に思っていること、悩んでいることなどがあれば、お気軽にお声をかけてください。



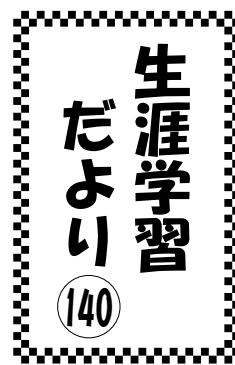
野鳥のさえずり聞きながら林の中を散策

沼沢から福沢へ続く尾根
づたいのコースを散策する
スノーシューハイキングが
三月十五日に行われ、参加
者した六人は沼沢湖を見下
ろしながら快い汗を流して
いました。
妖精美術館の裏から登り
始め、妖精の小径をたどる
コースには、曲がりくねつ
た木々や蔓がからみついた
木など物語の世界のような
光景が広がっています。

妖精の小径を散策 沼沢湖畔でスノーシューハイキング



生涯学習のマスコット
マナビイくん



耳を澄ますと野鳥のさえずりも聞こえ、参加者たちは聞こえる方向を一生懸命に見入っていました。
また、お昼には沼沢湖山荘で、ヒメマスの塩焼きを味わうなど楽しい一日となりました。
今回の催しは、NPO法人奥会津あそびのがっこう・沼沢湖山荘・中央公民館が共催で行ったものです。



森を学びながら散策する参加者

図書室だより

〈図書室からおすすめ本を紹介します〉

□告白…………… 湊かなえ (双葉社)

☆☆☆最新の本屋大賞を受賞しました☆☆☆

□野菜のしあわせフライパンがあれば

…………… 大庭英子 (講談社)

☆この本で紹介している料理は、身近な野菜を使って完成する、お料理ビギナーさんにもうれしい簡単レシピがもりだくさんです。

□小学生からのマンガ勉強本

ちびまるこちゃんの敬語教室

…………… さくらももこ (集英社)

☆学校の先生や近所の人など、年上の人にお話しするときに敬語を使えるとカッコいいですよ。この本を読んでルールを覚えましょう。

◆県立図書館の支援図書約200冊を入れ替えました。中央公民館図書と同じ手続きで借りることができます。

「小さくてもキラリと光る図書室」の充実のため、みなさんのご利用をお待ちいたしております。

◎ 問い合わせ 中央公民館 ☎ 54-5361

やまひだ 金山史談 好評販売中

やまひだの会と金山史談会では、このほど「やまひだ33号」と「金山史談18号」を発行しました。

ご希望の方は、中央公民館にお申し込みください。

金額は、どちらも1冊1,000円です。

◎問い合わせ 中央公民館 ☎ 54-5361



やまひだ33号と金山史談18号